

2017年6月
No.17-089a(本)※5

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、下記項目につきまして検査内容を変更させていただきますので、取り急ぎご案内する次第です。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

■検査項目/変更内容

- 別掲の「検査内容変更一覧」をご参照下さい。

■変更期日

- 2017年7月6日(木)受付日分より

以上

●検査内容変更一覧

頁	項目コード	検査項目名	変更箇所	新	旧	備考
25	2050	塩酸ピルジカイニド	検査項目名	ピルシカイニド	塩酸ピルジカイニド	
25	2095	コハク酸シベンゾリン	検査項目名	シベンゾリン	コハク酸シベンゾリン	より適切な一般名称に変更
26	2064	ゲンタマイシン(*)	有効治療濃度(単位)	Peak 15~20 Trough 1 未満 ($\mu\text{g}/\text{mL}$)	Peak 4.0~10.0 Trough 2.0 以下 ($\mu\text{g}/\text{mL}$)	
			採血時期	点滴開始 1 時間後 (30 分で投与した場合、終了 30 分後) (Peak 濃度) 投与前 30 分以内 (Trough 濃度)	筋注後 15~60 分 点滴静注終了後 (Peak 濃度) 次回投与直前 (Trough 濃度)	
26	2066	トブラマイシン(*)	有効治療濃度(単位)	Peak 15~20 Trough 1 未満 ($\mu\text{g}/\text{mL}$)	Peak 4.0~9.0 Trough 2.0 以下 ($\mu\text{g}/\text{mL}$)	抗菌薬 TDM ガイドライン 2016 に準拠
			採血時期	点滴開始 1 時間後 (30 分で投与した場合、終了 30 分後) (Peak 濃度) 投与前 30 分以内 (Trough 濃度)	静注投与後 1 時間 (Peak 濃度) 次回投与直前 (Trough 濃度)	
26	2068	アミカシン(*)	有効治療濃度(単位)	Peak 50~60 Trough 4 未満 ($\mu\text{g}/\text{mL}$)	Peak 20.0~30.0 Trough 8.0 以下 ($\mu\text{g}/\text{mL}$)	
			採血時期	点滴開始 1 時間後 (30 分で投与した場合、終了 30 分後) (Peak 濃度) 投与前 30 分以内 (Trough 濃度)	静注投与後 1 時間 (Peak 濃度) 次回投与直前 (Trough 濃度)	
26	2098	アルベカシン	有効治療濃度(単位)	Peak 15~20 Trough 1~2 未満 ($\mu\text{g}/\text{mL}$)	Peak 9~20 Trough 2 未満 ($\mu\text{g}/\text{mL}$)	
			採血時期	点滴開始 1 時間後 (30 分で投与した場合、終了 30 分後) (Peak 濃度) 投与前 30 分以内 (Trough 濃度)	点滴静注終了時 (Peak 濃度) 次回投与直前 (Trough 濃度)	
26	2070	バンコマイシン	有効治療濃度(単位)	Trough 10~15 ($\mu\text{g}/\text{mL}$)	Peak 18~40 Trough 5~10 ($\mu\text{g}/\text{mL}$)	
			採血時期	投与前 30 分以内 (Trough 濃度)	点滴静注後 1~2 時間 (Peak 濃度) 次回投与直前 (Trough 濃度)	
26	2086	ティコプラニン	有効治療濃度(単位)	Trough 15~30 ($\mu\text{g}/\text{mL}$)	Trough 濃度 5~10 (メークー参考値) ($\mu\text{g}/\text{mL}$)	
			採血時期	投与前 30 分以内 (Trough 濃度)	次回投与直前 (Trough 濃度)	

頁	項目コード	検査項目名	変更箇所	新	旧	備考
49	2420	SCC	検査方法	ECLIA	CLIA	SCCA2 に反応性の高い試薬に変更
			基準値(単位)	2.5 以下 (ng/mL)	1.5 以下 (ng/mL)	
			報告範囲	0.1 未満、 0.1~99900000	0.5 以下、 0.6~99900000	
			検査方法 参考文献	渡邊 万里子, 他:医学と薬学 72(2):181~188, 2017.	高木 康, 他:医学と薬学 52(3):413~421, 2004	
-	2584	エペロリムス (ECLIA)	検査項目名	エペロリムス	エペロリムス(ECLIA)	より適切な一般名称に変更
-	4446	アセタゾールアミド	検査項目名	アセタゾラミド	アセタゾールアミド	

(*)ゲンタマイシン・トブラマイシン・アミカシンにつきましては、緊急報告値の設定を削除いたします。

アミカシンほか薬物 10 項目

抗菌薬 TDM ガイドライン 2016 に準拠した基準値に変更させていただきます。

併せて、項目名称を、より適切な一般名称に変更させていただきます。

新基準値はグラム陰性菌感染症の重症時における標準治療の基準です(下表参照)。

グラム陰性菌感染症に対する標準治療における目標値(μg/mL)

最小発育阻止濃度(MIC)	8 μg/mL(重症)		≤4 μg/mL(軽・中等症)	
アミカシン	Peak 50~60	Trough 4 未満	Peak 41~49	Trough 4 未満

最小発育阻止濃度(MIC)	2 μg/mL(重症)		≤1 μg/mL(軽・中等症)	
ゲンタマイシン	Peak	Trough	Peak	Trough
トブラマイシン	15~20	1 未満	8~10	1 未満

(抗菌薬 TDM ガイドライン 2016 より改変)

※基準値は重症における目標値を基準値(有効治療濃度)として設定いたしました。

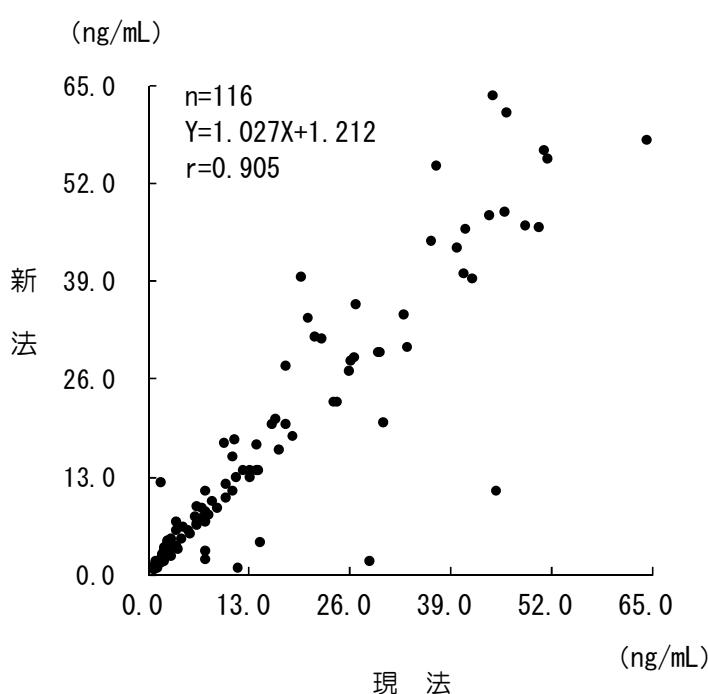
※ゲンタマイシン・トブラマイシン・アミカシンにつきましては、緊急報告値の設定を削除いたします。

SCC

癌組織で有意に上昇すると言われているSCCA2に対する反応性の高い試薬が発売されましたので、測定試薬を変更させていただきます。これに伴い、検査方法・基準値・報告範囲・参考文献が変更となります。新基準値はメーカー設定値です。

■新旧二法の相関

SCC



(エスアールエル検討データ)